



Brexitの次の考察は？

UHY FAS ニュースレター / 2019年3月

英国と欧州連合（EU）が、EUを離脱する英国の条件についてブリュッセルで協議を行っている。状況は6月の選挙前と同じくらい不明瞭である。それでは、私たちはどのようにして当面そして長期的な将来に備えることができるのか？

エグゼクティブサマリー： 単一市場または関税同盟

女王のスピーチは、政府に「ヨーロッパの同盟国との深く特別なパートナーシップと世界中の将来の貿易関係を築くこと」を求めることを約束したが、それはヨーロッパの単一市場と関税同盟の両方からの撤退を意味していると思われる。

英国の貿易政策は一連の措置で構成され、そのうちいくつかは一時的に対処することができ、その他は交渉する必要がある。関税同盟から離反することの利点は、英国が米国、中国、ブラジル及びその他の国の貿易ブロックと自由貿易協定を結ぶことができるということである。

さらに複雑なのは、関税同盟は商品だけをカバーしているが、英国経済の80%がサービスを扱っているということである。サービスに関しては、単一市場の支持の下での交渉は、はるかに困難になるだろう。ほとんどの既存の貿易取引は、サービスを除外しており、サービスを含む貿易取引は、人々の自由な移動と共通の規制も必要とする。

首相、テレサ・メイ氏は、EUとの「クラス最高」のFTA (Free Trade Agreement: 自由貿易協定) を望んでいると言う。しかし、FTAは単一市場のメンバーほど包括的ではなく、交渉に何年もかかるかもしれない。

UHYのBrexitサービスを率いるMartin Jonesは、次のようにコメントしている。「英国は、関税同盟および単一市場以外で独立した貿易取引を行っており、ハードとソフトな英国離脱が混ざり合った状況になるかもしれない。つまり将来、EUからの移民管理統制を受けながら、英国で生活したり働きながら欧州各国に自由にアクセスできることを続けることだ。」

「将来的にはEUのいわゆるBrexit離婚法案の問題もある。イングランドとウェールズのICAEW (The Institute of Chartered Accounting in England and Wales : イングランド・ウェールズ公認会計士協会) は最近、英国のEU離脱費用は50億ポンドから300億ポンドの範囲になると推定している。」

英国の企業およびその顧客に影響を及ぼす可能性のある取引問題

柔軟な事業であれば、未知数の中でうまく対応できるはずである。そうしたなかで、UHYのアドバイスは、英国事業が考慮すべき以下に列記する一連の重要な優先事項に焦点を当てている。

- 顧客、サプライヤー、その他の取引先との主要な契約の識別
- 国境を越えた影響度
- Brexitが労働力にどのように影響するかの検討
- 規制上の影響を評価すること。例えば、銀行と金融サービスに対する「パスポート」の権利
- 英ポンドの切り下げに基づく外貨保有高の検討
- 超過料金の影響を受ける供給品の代替製品の検討
- データとITの影響についての検討

- Brexit計画とリスク評価に対する内部責任の計画と割り当て (Brexit Committee)
- 年次財務諸表におけるBrexitのリスクと影響を検討 (戦略的報告)

本文は、UHY hacker young 事務所が作成したものを、UHY FAS が抄訳したものです。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



コンタクト

株式会社 UHY FAS

齊藤 守人 - バイス・プレジデント

Email: saito.fas@uhy-tokyo.or.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-3-37 プラース・カナダ 3F

Tel: +81 3 5410 1395 / Fax: +81 3 5410 2475

Website : <http://www.uhy-tokyo.or.jp/uhy-fas>

